



平成27年 5月11日

各 位

会 社 名 ヨネックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 米山 勉
(コード番号7906 東証第2部)
問 合 せ 先 常務取締役 連下 千歳
TEL (03) 3839 - 7112

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成27年3月期(平成26年4月1日~平成27年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期通期個別業績と前期実績値との差異(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成26年3月期)	百万円 41,195	百万円 1,595	百万円 1,819	百万円 1,009	円 銭 46.54
当期実績(B) (平成27年3月期)	45,426	1,558	1,929	940	43.35
増減額(B-A)	4,230	36	109	69	
増減率(%)	10.3	2.3	6.0	6.8	

2. 差異の理由

売上高で、バドミントン用品が世界的なバドミントン競技人気の高揚に後押しされ売上増に貢献しました。

従来、「営業外収益」にて計上していた「受取ロイヤリティー」については、当期より、「売上高」に含めて計上する方法に変更しております。

これは、国内・海外販売店におけるヨネックスブランド商品の製造・販売高の増加に伴い、商標のライセンス供与等の対価としての受取ロイヤリティーの金額的重要性が今後さらに高まることが予想されるため、ロイヤリティー戦略の見直しを契機に、当社の営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前期の個別財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前期の損益計算書における「受取ロイヤリティー」340,123千円を「売上高」に組替えております。

以 上